

桑井出場 日本は連敗

女子7人制ラグビー親善試合

女子7人制ラグビーのエキシビジョンマッチで、日本代表は4日、東京・秩父宮ラグビー場でオランダ代表と対戦した。桑井亜乃(埼玉・八木橋)立正大学院、帯農高出)がトライを挙げたが、7-15、7-22と連敗した。

男子7人制のワールドシリーズ第7戦、東京セブンズは同ラグビー場で1次リーグが行われ、D組の日本は通算1勝1敗1分けで組2位となり、ベスト8入りを決めた。

準々決勝ではA組1位のフィジーと対戦する。日本はアルゼンチンと14-14で引き分け、サモアを26-12で破り、フランスには19-24で敗れた。

日本女子「いい経験」

▽…女子日本代表はオランダ代表との親善試合に連敗。大きい相手の突進を止められなかった。秩父宮でプレーするのも初めてとあって、浅見ヘッドコーチは「みんな緊張していた。大きい相手に正面からまともにいってしまった」と指摘した。

11月にはリオデジャネイロ五輪の出場権を懸けたアジア予選がある。主将の中村は「反省点が多いけど、この歓声の中で試合をできたのはいい経験」と前向きに話した。